

おおさかの みち

あなたの知らない「みち」を
探してみませんか？



はるかぜはし
都島区 春風橋



くちなわざか
天王寺区 縄坂



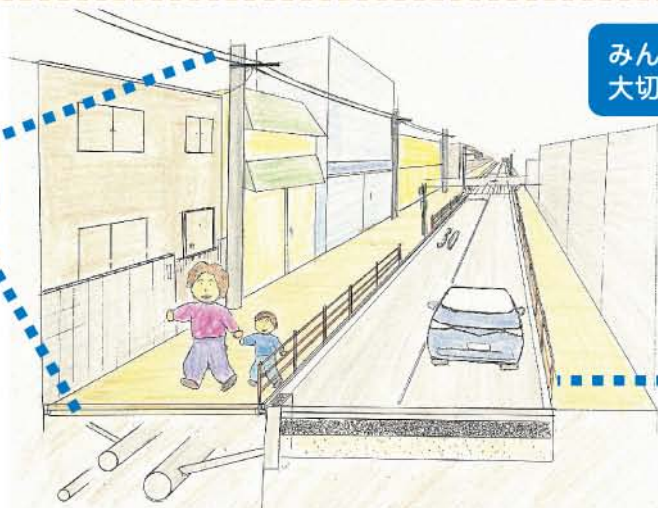
じゅうそうおおはし
淀川区～北区 十三大橋

大阪 大阪市建設局

「みち」ってなんだろう？

くらしに必要なライフラインが入っています

みんなが共有できる大切な空間です



車や人が行き来して、物や情報が交流されます

「みち」は日々の暮らしと一体となって人々をつなぐ大切な空間です

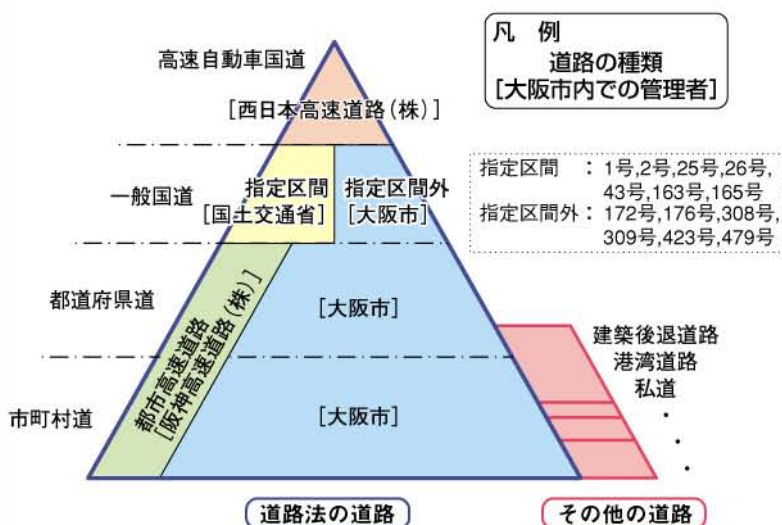
みち（道）は人・物・情報を運ぶ重要な役割とともに、日常生活に欠かせないライフライン（上下水道、ガス、電気、通信など）や地下鉄を収容する公共空間、また密集した都市で数少ない公共空地として、みんなの暮らしと深く関わっています。

大阪市では、**安心して暮らせるまちづくり**、**住みやすい環境づくり**、**みんなて活かす「みち」**をキーワードに、快適な都市環境づくりに貢献するみちづくりに努めるとともに、みんなが安心してみちを利用できるように**いつまでも安心・快適な「みち」**づくりにも努めています。

みちはみんなの生活に身近なため、かえてその重要性が見落とされがちです。よりよく快適にみちを利用していくためには、みんなで協力しながら安全できれいなみちを維持していくことが大切です。

これからのみちづくりについてみんなで一緒に考えてみませんか。

みちの種類にもいろいろあります



みちには色々な種類があり、大きく分けると「道路法の道路」と「その他の道路」となります。

「道路法の道路」は役割によって高速自動車国道・一般国道・都道府県道・市町村道に分けられ、それぞれの管理者が分担して管理しています。大阪市は市域内で指定区間外の一般国道および阪神高速道路を除く大阪府道・大阪市道の管理を行っています。

「その他の道路」にも港湾法にもとづく港湾道路や建築制限によって確保された道路などそれぞれの目的を持った道路があり、それぞれの管理者によって管理が行われています。



いのちはね、一つしかない、だからもの

発行 大阪市建設局街路部計画課
土木部工務課

URL <http://www.city.osaka.jp/kensetsu/>

平成18年3月作成

安心して暮らせる まちづくり

安全な「みち」づくり

歩道整備

大阪市では安全な道路となるように歩道の整備を進めています。そのなかでも、より安心なまちづくりをめざして、「コミュニティ道路(ゆずり葉のみち)」の設置に取り組んでいます。

歩道の整備事例

マウントアップ型



歩道全体が車道より高い構造

セミフラット型



歩道と車道の境界ブロックが歩道面よりも高い構造

コミュニティ道路ってどんな「みち」?



整備前
(危険がいっぱい)



整備後
(歩きやすい!)

コミュニティ道路とは、歩道と車道を分け、さらに車道に植樹帯の「張り出し」を作った道路です。植樹帯の「張り出し」によって、ドライバーは通りにくさを感じてゆっくりとした速度でしか走行できないようになります。

その結果、沿道のみなさんが安心して生活できる道路になります。

道路照明灯

照明灯の役割って?

夜道が暗くて不安を感じたことはありませんか?

道路照明灯は、夜間の交通事故防止や円滑な交通の確保を目的として設置しています。人や物の存在がすぐに認識できて、つねに危険を回避できるような明るさを確保して、街頭犯罪の防止や夜間も安心して通行できるように役立っています。



整備後
(明るいまちで夜も安心!)

ひとにやさしい「みち」づくり

道路のバリアフリー化

歩道の段差解消・勾配修正

歩道に大きな段差や急な勾配があると、転倒の原因になるなど危険です。

そのような危険な箇所については、段差を解消し、また勾配も緩やかに修正することにより、誰もが安全安心に歩くことができるひとにやさしいみちへと改善しています。



整備前(段差5cm)



整備後(段差2cm)

視覚障害者誘導用ブロックの設置

視覚障害者誘導用ブロックは、視覚障害者が施設的位置や方向、危険な箇所などを知るための道しるべです。駅などから公共施設などの施設までを結ぶ道路で設置しています。



横断歩道部での整備例



啓発用シール(クリアランスシール)

視覚障害者誘導用ブロックの上に自転車やモノが置かれていると、ぶつかってしまい、非常に危険ですので置かないでください。



放置自転車対策



撤去前
(自転車いっぱい歩きにくい)



撤去後
(広い道路、気持ちいいね)

路上に放置された自転車は、通行の障害となり地域の住環境を悪化させるため、鉄道駅周辺を「自転車等の放置禁止区域」に指定し、禁止区域内の自転車は、即時撤去しています。みんなの道路です。

自転車を放置しないようにしましょう。

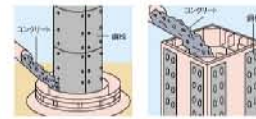
災害に備えた「みち」づくり

地震に強い橋

耐震補強って何?

地震発生時の落橋を防ぎ、災害時の救急・救援活動や物資の輸送、復旧活動に使用する緊急輸送道路としての機能を確保できるよう、橋梁の耐震補強を実施しています。

橋脚補強



橋脚に鋼板やコンクリートを巻くなど補強強化します。

橋脚補強の耐震対策例



対策前



対策後

(強い橋脚で地震に負けない!)

落橋防止



橋桁を連結することで落橋を防止します。

電線共同溝



(災害時に電柱が倒れることも)

電線類を道路の地下に收容する電線共同溝の整備を行うことで、歩道から電柱がなくなり、地震などの災害時に電柱が倒れるといった被害を防ぐとともに、歩道スペースが広がることで安全で快適な通行が可能になります。



整備前
(電柱が立ち並んでいる)



整備後
(電柱がなくなってすっきり!)

